



三重県立志摩病院

SHIMA HOSPITAL NEWS

志摩病院ニュース

3
月号
vol.163

『菜の花』 撮影者 検査室 倉田 幸則

～いつも笑顔で～

こんにちは。志摩病院看護部です。

県立志摩病院は、開設87年目に入ります。当初は株式会社高砂病院30床からスタートし、後に県立病院・地域医療振興協会の運営となり地域の中核を担う総合病院として機能を果たす歴史ある病院です。その歴史とともに看護活動も歩んできました。

風光明媚で温暖な素晴らしい環境に恵まれた中で、私たち看護職員は“笑顔でこころのこもった看護”を理念に日々活動しています。入院患者さまの医療全般にわたり、診療介助・食事介助や身体の清拭、機能回復等日常生活に少しでも近づける様にお世話をさせていただきます。看護師不足の厳しい現状は続いておりますが、地域の皆様の支援や協力のもと診療機能の回復に努力し、皆様と向き合い看護サービスができることにやりがいを感じています。地域に必要な医療・介護・福祉を看護で支え、地域活動にも積極的に参加していきたいと思っております。どんな時でも、どんな事でもお気軽にお尋ねください。

地域の皆様を大切に信頼される病院をめざしてまいります。よろしくお願いいたします。



看護部長
大辻 利栄子

～志摩病院ニュースを読み返す～

昨年4月より私たち地域医療振興協会の運営となり、早いもので1年が経過しようとしています。当初より救急医療の向上と入院体制の強化が優先して取り組むべき課題と考え、取り組んできました。医療面では志摩医師会、志摩市民病院を始めとする市内関係の皆さんにも支えていただき、新たに平日の夕方から10時半までと土日の日中の救急車の受け入れを開始し、現在も維持できています。新たに入院病棟を開棟し、志摩病院ニュースの発行が再開されたのが7月でした。翌8月には小児科松林信幸先生の赴任により、常勤医による小児科外来機能の充実を図ることができ、現在は慢性疾患外来も開設することができました(12月号)。10月には山下富都先生が赴任され内科医師の増員だけでなく、特に内分泌・糖尿病分野を中心とした体制強化にもつながりました。当初より医師だけでなく看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士の皆さんの支援を協会他施設から受けており、当協会の支援の文化について11月号で紹介しました。1月号では当院の検査技師の倉田幸則さん撮影の「だるま太陽」を冒頭で紹介し、管理者、院長より新年のごあいさつを申しあげました。医師会主催の「地域のみなさまとの懇談会」や志摩地域医療を考える会の交流会に参加し、地域の民生委員、児童委員、介護事業者など関係者の皆さんとの情報交換会も開催し、多数のご参加をいただいております。今後も志摩地域の医療を支える一員として励んでまいりますので、皆さん応援のほどよろしくお願いいたします。



副管理者
鈴木 孝明

主なもくじ

P1

- ◆～いつも笑顔で～
- ◆～志摩病院ニュースを読み返す～

P2

- ◆～骨折を防ぐ!寝たきりを防ぐ!～
市民公開講座を開催しました
- ◆老人クラブで講座を開催しました
- ◆二年間の臨床研修を終えて

P3

- ◆認知症について

P4

- ◆外来担当医表
(平成25年3月1日 現在)
- ◆介護教室
- ◆もの忘れ外来のお知らせ

～骨折を防ぐ！寝たきりを防ぐ！～ 市民公開講座を開催しました

整形外科病棟は、骨折をして入院をされている患者さんが大半です。骨折によって、入院前は歩くことができた人が退院時には寝たきり状態になることもあります。

そこで、当院地域連携センターでは、1月19日（土）に副院長兼整形外科部長の田島正稔先生を講師として『骨粗しょう症と骨折～健康長寿』をテーマに骨折を防ぐための研修会を開催しました。

当日は、寒い日にもかかわらず地域のみなさんや介護保険事業所の専門職、病棟の患者さんなど80人の方で会場がいっぱいになりました。参加者は、田島先生から骨粗しょう症の初期症状や危険因子、ロコモティブシンドロームについて学んだり、骨粗しょう症の薬について知識を得たりすることができました。また、丈夫な骨づくりのための簡単な体操についても説明がありました。

質問コーナーでは、住民のみなさんから活発な発言があり、それぞれに対して田島先生と高北先生が回答しました。参加者からは、「高齢者にとって、役に立つ話が聞けた」「わかりやすく話してもらえたので、よく理解できた。志摩病院で骨粗しょう症の検査はできるのか」「病気になったときに受診するのが病院だと思っていたけれど、このような研修をしてもらえることで志摩病院が身近になった」などの感想が聞かれました。



講師
副院長・整形外科部長
田島正稔

老人クラブで講座を開催しました

当院リハビリテーション室に勤務している理学療法士の丸山です。

この度、甲賀老人クラブ・甲友会さんのお招きで、「ロコモティブシンドローム」についてのお話をさせていただきました。

今回は、1月19日に開催しました「骨粗しょう症と骨折～健康長寿」（副院長兼整形外科部長・田島先生講師）をテーマにした研修会に参加されて、ロコモティブシンドロームについてもう少しお話を聞きたいとご依頼をいただきました。

当日は、寒い日にもかかわらずたくさんの甲友会の方々に参加していただきました。熱心にお話を聞いていただき、ご質問もいただきました。

皆さんの健康長寿に対する意識の高さを実感いたしましたし、地域においても様々な健康長寿についての取り組みが行われている事を知りました。

これからも、いろいろな形で住民の皆さんのお役に立てるようにしていきたいと思えます。



講師 理学療法士
丸山勝也

二年間の臨床研修を終えて

研修医は知識や技術を修得すべきなのはもちろんですが、学生時代の座学から人と接する仕事に移り変わる時期です。患者さんという「人」に接し、患者さんから教えて頂くことで医師として成長するという事は多くの先生方から御指導を受けるところです。

若輩者の私には経験を積んだ先生と同じように振る舞うことはとてもできませんでしたが、地域の皆様、志摩病院のスタッフの方々には私に優しく接してくれました。

4月からは精神科を専門にする予定ですが、皆様の暖かさで無事2年間の研修が終えられたことを忘れず、同じように暖かく患者さんに接するよう頑張ります。



臨床研修医
堀川健志

認知症について

現在認知症患者さんは2012年8月で300万人を越したことが明らかになりました。2002年の149万人から10年間で倍増しており、従来の予測を上回って急増しているため、厚生労働省は新たな認知症対策に乗り出すことを発表しました。予測を上回ったのは日本の高齢化と社会の認知症への理解が深まり、受診する高齢者が増えたことが一因と考えられています。当院でももの忘れ外来を開設しておりますが、年間を通して約90名の方が受診されており、認知症は身近な病気として受け入れられつつあることを実感しております。



認知症看護認定看護師
池田 幸子

しかし認知症の正しい知識が浸透しているとはいえ、かなり進行してから受診される方も少なくはありません。認知症は早期発見、早期治療をすることで症状を遅らせることができたり、種類によっては治る場合もあります。



認知症は普段の暮らしの中で「年のせい」ではすまされない出来事が必ず起こります。当院に受診された方の多かった意見をまとめてみましたので、早期発見のめやすにしてみてください。「あれ?」と思ったらためらわず、かかりつけ医または専門外来に相談してみてください。

(※もの忘れ外来の他、こころの外来、神経内科でも認知症の診察をしています。)

認知症早期発見のめやす

もの忘れ	時間、場所がわからない	人柄が変わる
①同じことを何度も言う、たずねる ②物のしまい忘れが目立ち、しょっちゅう探し物をしている ③同じ品物を買ってこんでいる ④電話の内容を憶えていない 	①今日の日付がわからない ②ゴミ出しの曜日を間違う ③慣れた道で迷う ④季節はずれの格好をする ⑤約束を間違える	①些細なことで怒る、頑固になる ②間違いを認めず、あつけらかんとした態度をとる、人のせいにする ③知人、友人から「何かおかしい」と言われるようになった
判断、理解力が衰える	不安が強い	意欲がなくなる
①料理ができなくなった、鍋をよく焦がすようになった ②次にする行動がわからず、よく立ち止まるようになった ③話のつじつまが合わない ④テレビ、本の内容がわからない 	①「自分はだめになった」等、悲観的な言葉をよく言うようになった ②一人であることができない、家族の傍を離れようとしなくなった	①家から出ようとしなくなった ②人と会うのを避けるようになった ③趣味に興味を持たなくなった ④部屋が整理整頓されていない ⑤身だしなみが整えられていない ⑥何をするにも億劫になる

受診を嫌がる場合には..?

1. かかりつけ医の医師に相談して専門外来を紹介してもらう
2. 健康診断の目的と伝える
3. 家族の方が受診されるという目的で一緒についてきてもらう

● 外来担当医表

(平成25年3月1日現在)

科名		月	火	水	木	金
内科循環器科	初診	片山	伊藤	黒川	瀬口	古里
		山下	山下	山下	担当医	鈴木(孝)
	再診	瀬口(予約)	///	担当医(予約)	///	///
担当医(予約)		///	///	担当医(予約)	担当医(予約)	
神経内科		///	///	///	真鈴川(第3週) (10:00~16:00・予約)	///
大腸センター		///	吉村 (予約)	///	///	///
外科		勝峰	新貝	根本	勝峰	根本
脳神経外科 亀井医師の診察は 10:00~		山本	亀井(第1・3週) 山本(第2・4週)	山本 (もの忘れ外来を 含む・予約)	山本	山本
緩和ケア科		山際(予約)	山際(予約)	山際(予約)	山際(予約)	山際(予約) 小西(午後・予約)
小児科	午前		松林 (急性疾患外来)	松林 (急性疾患外来)	松林 (急性疾患外来)	松林 (急性疾患外来)
	午後	13:30~16:00 受付	松林 (育児支援相談・慢性 疾患外来の一部・予約)	松林 (慢性疾患外来・予約)	松林 (予防接種・予約)	松林 (慢性疾患外来・予約)
		16:00~16:30 受付	松林(急性疾患外来の一部 ※場合により応需しております。電話にてお問い合わせください。)(金曜のみ月1回休診・不定期)			
産婦人科	午前	///	担当医	///	///	///
	午後	担当医	///	///	///	///
整形外科	初診/ 予約外 診察時間		中西 伊勢総合病院医師 9:00~12:00	里中 伊勢総合病院医師 9:00~	吉田 伊勢総合病院医師 9:15~	田島 9:00~
	初診		高北	///	竹原 (予約)	///
	再診		田島 (予約)	高北 (リウマチ外来・予約)	///	高北 (予約)
泌尿器科		塚本	塚本	山田	塚本	塚本
眼科 火曜日のみ受付 8:00~11:00まで		前田	前田 (初診のみ)	前田	前田	前田
こころの 外来	午前	再診	松山	岡田	松山	///
			棚橋(第1・3週) 福山(第2・4週)	吉田	吉田	///
	午後	初診	松山 (予約)	岡田 (予約)	松山 (予約)	///
			///	吉田	吉田	///
皮膚科 受付 11:00まで		近藤	///	///	近藤	///
耳鼻咽喉科		石永	///	///	///	///

- *受付時間は8:00~11:30となります。
- *眼科の火曜日は8:00~11:00までとなります。
- *皮膚科は8:00~11:00までとなります。
- *脳神経外科の亀井医師の診察は10:00からとなります。
- *小児科の3月の金曜日午前診療は、第1・2週は松林医師、第3・4週は三重大学医師の診察となります。
- 4月の金曜日午前診療は、第3・4週は松林医師、第1・2は三重大学医師の診察となります。
- 松林医師の診察日は、診療のみとなります(乳児健診は午後からとなります)

- 三重大学医師の診療日は診療と乳児健診となります。
- *外科外来では、乳腺外来と甲状腺外来を併設しています。(月曜日~金曜日)
- *内科・循環器科・神経内科は完全紹介制となります。
- *(/ / / /印は、休診日) 土・日・祝日は休診日です。
- *予約の診察につきましては、各科外来にお問合せください。
- *前回受診後3ヶ月を経過すると初診扱いとなることがあります。
- *医師の都合により休診又は、変更となる場合がありますので各科にお尋ねください。

~介護教室のお知らせ~

開催日時:毎月第4木曜日 13:30~14:30
 場所:当院 講堂(2階売店横)
 ※当日どなたでも無料で参加できます!!



今年度テーマ
「高齢者の気持ちを知り、家族と共に穏やかに暮らせるように!」

月日	テーマ	具体的内容
3月28日	認知症の困った症状はどうして出現するの?~第4弾~	認知症の困った症状を寸劇で表現します

三重県立志摩病院 Eナース 高齢者支援チーム
 お問い合わせは看護部まで

もの忘れ外来のお知らせ

当院脳神経外科では、
 毎週水曜日にもの忘れ外来を併設しています。

診察日 **毎週水曜日 (完全予約制)**

◆ 予約受付・お問い合わせ

三重県立志摩病院 脳神経外科 TEL.0599-43-0501

平日 9:00 ~ 15:00 の間に脳神経外科までご連絡をお願いします。

